

地域経済活性化事業

【環境経済部農林課所管】

1. 事業の内容

本市の農業施策として、生産者の高齢化、人手不足への対策を望む声が多く寄せられてきました。さらに、最近では、コロナ禍の行動制限、観光客の減少も相まって、地域経済は深刻なダメージを受けています。

そこで、国のコロナ交付金を活用して、新興の人材マッチングサービス会社^注と提携し、単なる一事業者による求人ではなく、地域の魅力の発信を通した求人によって、滞在型観光と短期的・季節的な人手不足の解消を同時に実現し、関係人口の創出等を図ります。

今年度は、初年度として、萱生地域推進協議会とのモニタリング事業を実施します。

注：株式会社おてつたび → 詳細は別紙

2. 課題

- ① 柿農家の最繁忙期である収穫作業は9月下旬から始まり、収穫、選果、脱渋等の人手が必要になります。
- ② 人手不足は、生産量減少、放棄地増加の要因になっています。
- ③ これらのことから、本件事業を活用して人手を確保したいところですが、本市の募集内容を全国発信し、十分に周知させるには、少なくとも1ヵ月以上の期間が必要とされています。よって、9月議会終了後の着手では、今年の人手不足に備えることができません。

3. 予算額…議案第41号『令和4年度天理市一般会計補正予算（第4号）』

19ページ 6款：農林費 1項：農業費 3目：農業振興費 4,656千円

- (1) サービス提供会社との行政連携費【委託料】：2,970千円

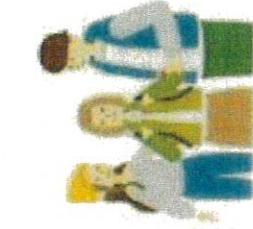
内訳：事業構築のための費用…オンラインによる説明会費、ホームページ作成サポート、地元へのサポート等

- (2) 地元協議会（萱生地域推進協議会）のモニタリング事業経費

【負担金補助及び交付金】：1,686千円

内訳：サービス提供会社のシステム利用料、参加者への保険料・宿泊費（ゲストハウス利用料）等。10人×30日間を想定。

地域のお手伝い

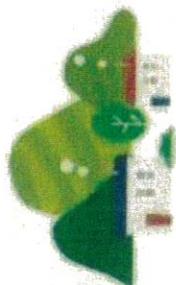


- 交通費削減
- スキル活用
- 地域との交流

人手不足解消

魅力再発見

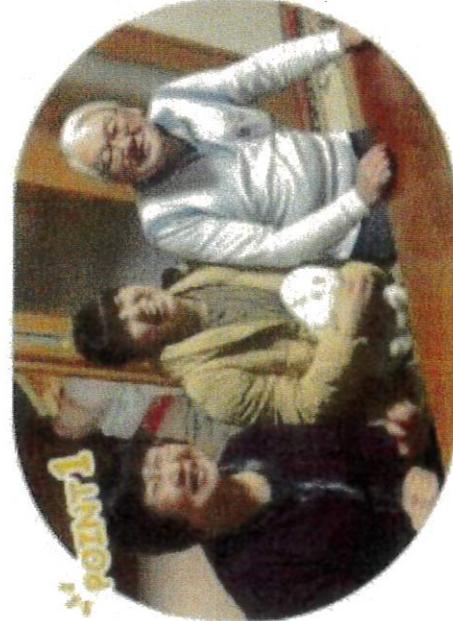
関係人口増加



おてつたび

報酬・寝床・食事

こだわりポイント



POINT 1



POINT 2



POINT 3

お手伝いを通じて
地域の方と関係性ができる！

知らない地域に
行くきっかけができる！

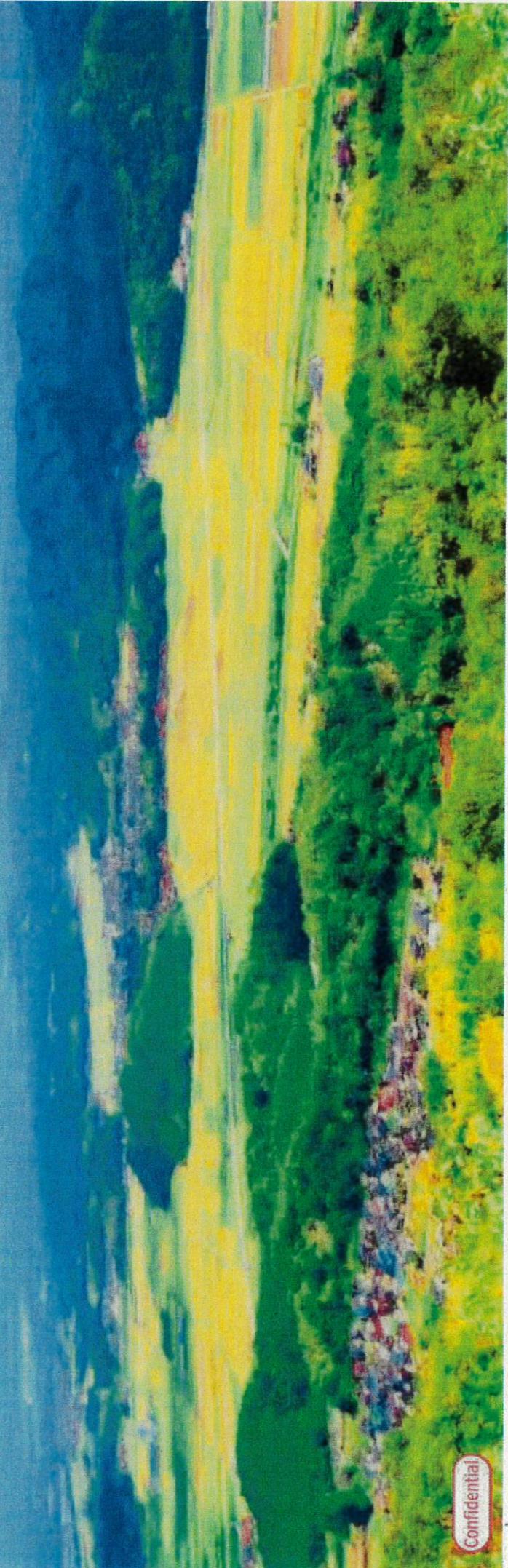
お手伝いすることで報酬をゲット！
旅費等の削減が可能に..！

Mission

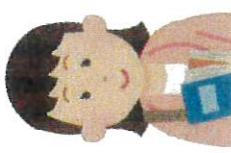
誰かにとつての特別な“地域”を作る

自分にとつて、特別な地域つてありますんか？
他の人にとっては、知らなかつたり“ふーん？”つて思う地域でも、自分にとつては特別で大切で思い出深い地域。
ついつい誰かに紹介してしまったり、もう一度足を運んだり、名前を見ると嬉しくなつたり…
私たちちはそんな方々を地域のファンと呼んでいます。

日本各地には、まだ知られていない隠れた魅力を持つている地域が沢山あります。
ただ、キッカケがなかなかつたりして、訪れる機会を失っているだけなんです。
私たちとは、誰かにとつての特別な地域（地域のファン）を沢山創出する事によつて、
その方を通じて地域の情報を発信し地域を作つていきます。



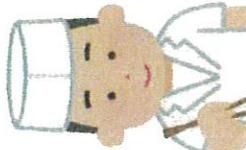
10代～20代の若者が全体の約4割程 社会人の利用も増えておりスキルを持つた方とマッチングすることも多数！



地域の伝統産業の存続や継承、経営について学んでいます。

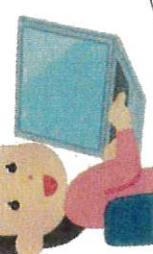
「地域活性」「子ども」に興味があり、大学では岩手との小学生との交流や地域のお祭りの運営を行うボランティア団体に所属しています。旅行が好きで、訪れた地域に暮らす方とお話をすることがとても好きです。その地域ならではの暮らしや文化、土地に根付いた暮らしに興味があり、旅を通して様々な暮らしを知りたいです！（一部抜粋）

20代女性



和食の料理人をやっています。おてつたびに参加して、生産者の想いを知ってから食材への向き合い方に変化がありました。

30代男性



雑誌の記者をしています。
農家さんを取材する前に自分が農業を経験して農家さんのこだわりの学びたくて、参加しました。

20代女性

九州南部の文化や一次生産に興味があり、宮崎県か鹿児島県に来年移住をするために現在は日南市で授業を受けながら生活をしています。（一部抜粋）



20代男性

地方創生、地域活性について興味を持って勉強しています。ただ本を読んだり、座学だけでなく、その街に入り込み、自分の目で見て手を動かす。そうして、五感で地域の魅力を学ぶことが目標です。（一部抜粋）



20代男性

